

令和 7 年度 学校法人洛和学園 事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

1. 法人及び学校の概要

学校法人洛和学園は、看護教育を通じて地域医療に貢献する人材を育成することを目的として設立され、設置校である洛和会京都看護学校の健全かつ安定的な管理運営に取り組んでいる。令和 7 年度は新校舎移転後の本格稼働初年度として、教育環境の充実、学生支援の強化、安定的な学生確保を重点目標に事業を実施した。

学校規模の概要

課程	学科	修業年限	入学定員	収容定員
医療専門課程	看護学科	3 年	80 名	240 名
	助産学科	1 年	20 名	20 名

役員・評議員の概要

	理事	監事	評議員
定 数	5 名	2 名	6 名
令和 7 年度	5 名	2 名	6 名

※理事・評議員の任期は 4 年（令和 7 年 6 月 1 日時点）

理事長	矢 野 裕 典	評議員	廣 石 阿津沙
副理事長	樋 口 敏 宏	評議員	福 田 裕 子
理 事	健 代 孝 和	評議員	川 本 八 郎
理 事	竹 中 洋	評議員	森 田 鉄 兵
理 事	三 宅 友 美	評議員	毛 利 貴 子
監 事	大 川 真 司	評議員	加 藤 裕美子
監 事	谷 口 純 一		

2. 学生数の状況

本年度は、看護学科新入生 88 名（前年度 86 名）、助産学科新入生 20 名（前年度同数）を迎え、全学生数 273 名（前年度 272 名）で新年度をスタートした。看護学科の留年者数が大幅に増加しており、学年末に留年や進路変更等の理由で退学者があった。退学率は前年度比 0.5%減の 4.3%となった。

●看護学科

学年	学生数	進級者 卒業者数	留年者 数	退学者数	退学率	休学者数
1 年	91(3)名	81 名	6 名	4 名	4.4%	0 名
2 年	80(3)名	67 名	8 名	5 名	6.3%	2 名
3 年	82(8)名	78 名	2 名	2 名	2.4%	4 名
当年度合計	253(14)名	226 名	16 名	11 名	4.3%	6 名
前年度	252 名	232 名	8 名	12 名	4.8%	7 名

※（ ）うち留年生

●助産学科

区分	年度当初	期中復学	卒業者数	留年者数	退学者数
当年度	20 名	—	20 名	0 名	0 名
前年度	20 名	—	20 名	0 名	0 名

2. 教育環境の充実

新校舎移転により教育環境は一新され、開放的な講義室に加え、広い実習室はベッド 21 台が並び、学年全員で一斉に実習ができるようになったことで、教育効率の向上が図れた。図書室には看護専門図書約 7,000 冊に加え、一般図書約 2,200 冊を配架し、アトリウムなどを含んだ広々とした共有空間で学生同士が学びあえる環境が整った。特に、校舎内の通信環境は校舎全域で高速通信が可能となり、学生の個別端末を一斉にインターネットに接続してもスムーズに授業を運営できる環境となった。厚生労働省補助金「看護師等養成所における DX 効果検証事業」の採択を受け、クラウド型教学システムヨリソル、クラウド型臨地実習支援システムの導入を推し進め、出席管理や成績管理はもちろんのこと、授業の資料配布や小テスト、実習記録もデジタル化することができた。

3. 国家試験対策

看護学科では、国試合格率 100%と目標を掲げ、3 年生に対しては、4 月より業者模試および過去の国家試験問題を活用し、学生が自身の学習課題を明確にできるように支援した。また、各領域の実習に合わせ、実習前後に関連問題に取り組みさせることで実践と知識が結びつくように支援を強化した。さらに、頻出する疾患については受け持ち患者とは関係なく理解を深められるように工夫した。9 月までに必修問題は 85%以上の正答率を目指し、基本問題に特化した補完講義を実施した。夏以降は模擬試験の結果に基づき学力別のラダーを編成し、個々に応じた特別対策講義を実施することで課題の克服に向けた支援を強化した。また、学校を夜間 21 時まで開放し、洛和会に勤務する卒業生がチューターとして国試対策の個人指導を実施するとともに、学生同士が学びあう時間とした。結果、国家試験受験生 78 名のうち合格者 73 名不合格者 5 名、目標とした国試合格率 100%を達成することが出来なかった。次年度は目標達成に向け、改善策を早期に講じ実行に移す。

1, 2 年生に対しては、年度末に実施した模擬試験の結果に基づき、課題の多い学生には少人数の学習会を設け学習方法を含めた支援を実施した。

助産学科では、過密な 1 年課程の中で分娩介助実習と並行して国家試験対策を行う必要があるが、個別課題を分析し個々に克服することが出来、目標とした国試合格率 100%を達成することが出来た。

区分	受験者数	合格者数	合格率	前年度合格率
看護学科	78 名	73 名	93.6% (94.1%)	100% (95.9%)
助産学科	20 名	20 名	100% (99.8%)	100% (99.3%)

※ 新卒のみ () 新卒の全国平均合格率

4. 教育活動の実績

(1) 教育内容の充実・改善について

学校教育法の改正に伴い、教育課程の変更承認申請を行い、京都府に承認を得て令和8年度のカリキュラム改訂をした。

新校舎への移転に伴い、基礎看護技術演習を2クラス合同で実施することが可能となり、これまで課題であったクラスによる教授内容のバラつきを解消することができた。

また、実習記録をデジタル化したことにより、複数の教員が学生の記録を確認することができるようになり、指導の工夫につながった。さらに、実習評価においても実際記録を確認しながら客観的に検討・評価を行うことができるようになったため評価の精度が高くなった。加えて、学修に課題のある学生に対しては課題の明確化が可能となり、再度実習の機会を設けることができた。3月に実習指導教員の増員があったことにより、再実習においても病棟との連携がこれまで以上に円滑に行われるようになり、学生一人ひとりの課題に応じたきめ細かな指導が実施できた。その結果、実習単位を修得することができた(2名を除く)。

(2) 実習指導者講習会の実施

例年に引き続き、京都府から補助金を得て厚生労働省認定の実習指導者講習会を実施し、京都府内外の病院から36名の参加者があった。

(3) 助産学科実習施設の拡大

充実した実習環境を整えるため、分娩介助実習の新規開拓に注力した。その甲斐あって新規の実習施設(京都府立医科大学附属北部医療センター・宇治徳洲会病院)を開拓することができた。

(4) シミュレーション教育の充実

新校舎とともに購入した教育器材を活かしたICT教育を発展させた。ICT教育を取り入れることでより実践に近い演習を実施することができ、その経験が臨床現場に立ったときに有効に働いた。

5. 学生募集活動の実績

(1) オープンキャンパス参加者数

看護学科のオープンキャンパスは、全6日程で開催した。社会人の参加者増を目的に、18時開始の夜間開催を3日程実施するなどの施策を講じたが、前年同様37名の参加人数となり社会人募集対策に対して課題が残った。一方、高校生は新校舎竣工の効果もあり318名の参加となり、前年度比で100名増加した。

助産学科のオープンキャンパスは全2日程で開催し、参加者数200名と前年度比で53名増加した。

看護学科	高校生	社会人	合計	助産学科
令和7年度	318	37	355	200
令和6年度	218	37	255	147
令和5年度	190	40	230	111
令和4年度	196	60	256	104

※ 人数は同伴者を除く延べ数

(2) 高校校内ガイダンス・高校進路指導教員訪問

進学系広報業者からの紹介による高校内の在校生向け進路ガイダンス（分野説明、学校説明）に、重点校を中心に 66 回（前年 72 回）参画した。また、令和 7 年度より京都府高等学校長 OB を非常勤職員として雇入れ、その者を中心とし延べ 216 回（84 校）高校進路指導教員へ向け訪問し本校とのパイプ作りに努めた。

(3) SNS 告知

Instagram アカウントから学校イベントの紹介を随時行ったものの、投稿数が 74 件（前年 139 件）と減少し、運営体制に課題が残った。

(4) 入試制度の改革

京都府下の看護専門学校では導入が進んでいない AO 入試を実施し、優秀な学生の早期確保に努めた。また、学力のある学生の見極めと獲得を目的とし、一般入試区分と同時開催とした特待生選抜試験を設けた。

(5) 入学試験実施結果

	区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和 7 年度	看護学科	267 名	259 名	93 名	86 名	2.8 倍
	助産学科	120 名	109 名	28 名	21 名	3.9 倍
令和 6 年度	看護学科	113 名	109 名	96 名	88 名	1.1 倍
	助産学科	114 名	96 名	23 名	20 名	4.2 倍
令和 5 年度	看護学科	130 名	122 名	97 名	86 名	1.3 倍
	助産学科	97 名	91 名	23 名	20 名	4.0 倍

※倍率＝受験者数÷合格者

看護学科の受験者数は 150 名増加し、志願者倍率は 2.8 倍へと大幅に上昇した。一方、助産学科の受験者数は 10 名増加したものの、合格後の辞退者が 7 名出て、倍率は 3.9 倍へと 0.3 ポイント下降した。

6. 教職員の概要

(1) 教職員数の増減

	令和 7 年 4 月 1 日	令和 8 年 4 月 1 日	増減 (▲減)
学校長	1 名	1 名	
副校長	0 名	0 名	
専任教員	17 名	15 名	▲2
看護学科 ※12 名以上	12 名	12 名 (内 1 名専任教員講習受講中)	
助産学科 ※3 名以上	5 名 (内休職 1 名)	3 名	1
その他の教員	3 名	9 名	6
看護学科	3 名	8 名 (内非常勤 1 名)	5
助産学科	0 名	1 名	1
事務職員	15 名 (内非常勤 3 名)	15 名 (内非常勤 3 名、 派遣 2 名)	
計	36 名	40 名	4

※ 設置基準の定数